

# 5月12日 2013(平成25年) 主日礼拝

礼拝開始:午前11時

聖餐式・母の日

司 会 : 小木秀夫兄  
 奏 楽 : 小島 明美 姉  
 おいのり : 加藤由美子姉  
 さ ん び : 新聖歌 505 (主われを愛す) 1・2・4 節  
 主の祈り  
 聖 書 : マルコによる福音書 2 章 1 ~ 12 節  
 (朗読: 持田樹理姉)  
 音 楽 : 瀬戸カルバリーチャペル女声クワイア  
 メッセージ : 「人生は出会いで変わる」 倉知 契 牧師

さんびと 献金 : ♪ 新聖歌 233 「驚くばかりの」 1・3・4  
 聖 餐 式  
 頌 栄 : ♪ 新聖歌 162 「ハレルヤハレルヤハレルヤ」  
 祝 禱  
 報 告

## 【瀬戸ニュース】

- ◇ 教会へようこそ！心からご歓迎いたします。
- ◇ 今週も祈禱会を大切に！
  - 木曜祈禱会: 朝10:30
  - 土曜 : 会堂清掃 10:30~、 11:15~準備祈禱会
- ◇ 宿題(祝大)今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
  - Aコース : ルカ 11章~14章
  - Bコース : 土師記 20 章~サムエル上 14 章
- ◇ 今日 昼食後1時半から - 母の日スペシャル -  
 「誰でも歌える楽しい持ち寄り音楽会」を開催します。
- ◇ 5月26日 バザーを行います。準備をお願いします。

◇次聖日礼拝奉仕者(2013年5月19日) [ペンテコステ礼拝]  
 [司会: 片岡洋一兄、いのり: 下岡晶子姉、聖書朗読: 赤塚孝子姉]  
 [ピアノ: 館 節子 姉、 賛美リード: 大神 雄兄 ]  
 [アシスト: 加藤由美子姉 & 大神久美姉]  
 [献金: 持田樹理姉、受付: 太田昌子姉]  
 ◇PA: 平松章治兄 ◇週報編集: 片岡洋一兄  
 ◇ホームページ編集: 大神真伸兄



「皆はぶったまげるほど驚いて、恐ろしくなりましたが、人間にこんなだけの権威を与えられた神はんに感謝し賛美したそうや。」  
 (マルコによる福音書一章十二節 大阪弁聖書)

我ひとり悩むのでなく 母が共に 我ひとり聞くのでなく 母が共に  
 我ひとり信じるのでなく 母が共に 我ひとり祈るのでなく 母が共に  
 我ひとり喜ぶのでなく 母が共に 我ひとり待つのでなく 母が共に

瞬きの詩人、水野源三さん。昭和21年(1946)小学四年生で集団赤痢にかかり、47歳で天に召されるまで、脳性麻痺で身体はきかなかつた。死にたいと思っても口にも出せなかつた。出来ることは、見ることと聞くことだけ。

もしも私が苦しまなかつたら 神様の愛を知らなかつた  
 もしもおおくの兄弟姉妹が苦しまなかつたら 神様の愛は伝えられなかつた  
 もしも主なるイエス様が苦しまなかつたら 神様の愛はあらわれなかつた

進行性筋委縮症にかかってなお、杖をついて伝道する牧師がいた。宮尾隆邦牧師。彼が何度も水野家を訪ね、一冊の聖書を置いていった。それが、源三さんが信仰をもつきっかけとなった。彼は自分で聖書のページを開くことができない。だから母が朝、源三さんの身体を起こして居間のこたつに首をおき、その前に聖書を置いておく。自宅でパンの加工販売をしながら、時々戻ってはページをめくる。こうして渴いていた源三さんの心に、いのちの水が注がれていた。彼は日増しに明るくなり、顔つきも変わり、18歳で洗礼を受ける。

瞬きで合図を送り、辞典の裏にある五十音図を使って、一字一字を拾ってもらうやり方で詩を書き始めた。拾ったのはやはり母であった。その詩はやがて日本中に広まった。「源三より一秒でもいいから長生きしたい」と言い続けた母は、源三さんが38歳の時に召された。でも母の死は彼を強くした。彼にはもう神様しかいなかった。信仰は深まり、召されるまで「御心のままに」と主に従い生きた。

今一度、水野源三さんの詩を深く味わいつつ、母の日に添えて。

天のお父様のお陰 あのお母様のお陰  
 ありがとうございます けして独りではないことを教えてくれて (作: 倉知)

瀬戸カルバリーチャペル 倉知 契